



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.03

神岡地域に工場を構え、コンクリート二次製品を製造・販売しているのが、株式会社ホクエツ秋田（京野昭三郎代表取締役、本社・秋田市）です。

同社が製造しているのは、主に道路側溝や、農業用水路に使われるベンチフリューム、路上で歩道と車道の境界に設置されているブロックなど…。わたしたちが普段の生活でよく目にするものを多く作っています。同社では、製品開発から品質管理、供給までを自社で一括管理。公共事業などで幅広く採用されている可変側溝や流雪溝をはじめ、同社が特許取得している製品は数多くあり、多種多品目の

製造は、企画開発力の高さを示しています。

リーマンショックや東日本大震災、円高などを乗り越えた同社。業界そのものは縮小傾向にある中、生産量は増加しています。公共事業に関連する受注が大半を占める同社は、人口減社会を見据え、発注者側が予算を抑えられるように耐久力を備えた長寿命製品の開発に力を入れたい考えです。現在は、秋田大学との産学官連携事業を進めているほか、自然環境を保全するため、環境に配慮した商品の開発にも積極的で、さまざまな新しい取り組みを秋田から発信していきたいと意気込んでいます。



インフラ整備に一役

株式会社ホクエツ秋田（神岡）

製造品目／側溝、擁壁、護岸ブロックなど

従業員数／57人（大曲工場〔神岡〕）

※今回の案内人は生産管理担当の永沼佳さん